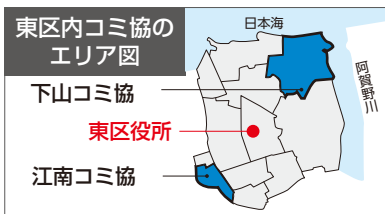


トーク(得)
東区する
コミ協
情報

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもとと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は、地図にある2つのコミ協を紹介します。



下山地区コミュニティ協議会 会長 大河内 一男

安心して暮らせる福祉の環境づくり

当コミュニティ協議会の福祉部会は、下山コミュニティハウスを拠点として、自治連や民児協をはじめ多くのボランティアの協力で活動しています。



福祉部会の様子

当部会は新しい組織になって日も浅く、具体的な活動は少ないのが現状ですが、他の部会への参加協力や日々の情報交換を心がけながら、年一度の全体会議を開催しています。

26のボランティア団体の代表の方に参加していただき、地域における問題点や要望・提案などを議題として、ワークショップやグループ討議をしています。代表の方から現状報告や事例報告を



報告の様子

していただき、地域全体で討議内容を共有しながら、みんなが安心して暮らせる福祉の環境づくりをしたいと思います。

江南小学校区コミュニティ協議会 会長 新保 正樹

安心・安全で楽しい地域づくりに向かって

当コミュニティ協議会活動の究極的な目的は、安心・安全で楽しく住民が手を携え合える地域づくりです。そのために、災害時に避難所を共にする近隣のコミ協傘下の自治会と、実践的な合同防災訓練を実施しています。



避難所運営100人井戸端会議

平成28年度は合同で長岡市と小千谷市で学び、さらには、避難所運営や避難所生活のルールを語り合う100人参加の大井戸端会議を開催しました。

その他にも、歳末助け合い防犯講話やナマオケ



名づけて健康音楽会 92歳の舞

健康音楽会、紙ヒコーキ大会や人形劇、認知症対策講座や朝ごはん作りなど、老若男女向けのてんこ盛りの事業を展開しています。

そうなんだ!
東区について知るクイズ

正解発表



牡丹山諏訪神社古墳
マスコット
キャラクター
「ぼたんつつは」

答え

- ①東区役所は、今年度、新庁舎誕生(イ:5周年)を迎えました。
- ②東区の海老ヶ瀬には(イ:ミズアオイ)の自生地があります。
- ③東区には牡丹山諏訪神社古墳があり、円筒埴輪の破片が出土しました。マスコットキャラクターの名前は(イ:ぼたんつつは)です。
- ④東区には新潟バイパスと新新バイパスが通っていて、インターチェンジが(ウ:4か所)あります。

第8号に掲載した上記のクイズに、区民の皆さまから122通の応募をいただきました。いただいた広報紙への感想やご意見を、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。図書カードは、全問正解者27名に郵送でプレゼントしました。

編集後記

クイズの応募と共に「写真が多くて見やすい」「地域の情報が掲載されていて楽しい」等の貴重な感想やご意見を沢山いただき、感謝申し上げます。第9号では、新潟県立大学生によるまちづくりへの若々しいアイデアを掲載しています。これからも「楽しく、読みやすく、分かりやすい広報紙」を目指しますので、ご期待ください。(井上 貞男)

じちきょうぎかいだより
ひがしく
東区自治協議会
だより

平成29年3月19日発行

第9号

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709
新潟市東区下木戸1丁目4番1号
東区役所地域課内
TEL:025-250-2110
FAX:025-271-8131
E-Mail:chiiki.e@city.niigata.lg.jp

第5期東区自治協議会を振り返って



五十嵐 初司
6年間自治協議会で勉強させていただき、ありがとうございます。



西方 四郎
終の住処と定めたこのまちで、何かできないかと4年間務めました。



折笠 正寛
6年間は短い印象でしたが、得るものは多かったと感じています。



音田 智
東区の交通や産業など多くを勉強し、益々東区の魅力を発見しました。



小林 政衛
自分の能力不足を感じながらも、一生勉強!と思い取り組みました。



荒木 美穂子
4年間皆様のおかげで楽しく活動できました。ありがとうございました。



大橋 宏子
退任後も地域活動を続けていきますので、よろしくお願ひいたします。



金子 義雄
新潟市や東区を考える機会をいただいたことが、大収穫でした。



金胎 芳子
自治の多くを学び知りました。お世話になりました。ありがとうございました。



早福 晃
事務局のご苦勞に感謝します。「まちづくり計画」の進展に期待しています。



石垣 順子
様々な経験をさせていただきました。得た思いを種としてまき、育てます。



本望 みな子
一步踏み込んだのですが、沢山のことが見え勉強になりました。



佐藤 泰司
委員の経験を、防災をはじめとする地域の活動に活かしていきます。



水嶋 義章
公共交通に関する議論に参加し、意義深いものがありました。



山田 フヨ
東区のために2年間奉仕しました。良い体験になりました。



若槻 勲
第1部会の経験とともに、地域に帰ってからも頑張ります。



井川 義廣
東区自治協議会は前進し、私も充実した4年間でした。

「東区まちづくり実践塾（活動編）」

各部会の活動を振り返って

第1部会（市民協働部門） 部会長 五十嵐 初司

地域防災推進事業

今年度は「自助・共助」の構築に向けて、大きく二つの取り組みを行いました。

一つ目は、地域の中で活躍する防災リーダーの育成を支援し、防災リーダーと地域との繋がりを図ることを目的とした研修会を6月22日に開催しました。また、共助の意識を高めることを目的とした研修会を11月29日に開催しました。

二つ目は、災害時において、地域から区災害対策本部へ被災情報を伝達する体制を整備することを目的に、東山の下と南中野山コミュニティ協議会をモデルとして、簡易無線機を使用した情報伝達訓練を3月2日に実施しました。

防災・減災にゴールはありません。常日頃からの積み重ねが大切です。



第2部会（福祉・教育・文化部門） 部会長 吉田 信延

東区まちの魅力発見事業

今年度は、東区の魅力の更なる発信のため、全3回の東区めぐりツアーと、自治協議会及び区が発行した各種情報紙の検証を行いました。情報紙の更新状況や発行後の周知方法などの検証結果を、今後の情報紙発行の参考にしたいと思います。

また、3月20日に、東区プラザホールで「東区あったかふれあいまつり」を開催します。太鼓や楽器の演奏、落語やパルーンアートなど、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集い、一緒になって楽しめるイベントです。高齢化や核家族化が年々加速する中で、地域の人が知り合い、声を掛け合い、支え合う雰囲気づくりのきっかけにしたいと思います。



第3部会（産業・環境部門） 部会長 西方 四郎

東区の公共交通に関する実態調査

平成27年9月の路線バスの再編に伴い、新潟市の公共交通が大きく変化した中で、東区の公共交通に関する各地域の現況や区民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。専門的知識を有する業者に調査を委託して、東区における生活交通の課題を整理し、報告書としてまとめました。自治協議会として、今後の公共交通の検討に活かしていきたいと思っています。

また、現在東区では、区バスの社会実験として、越後石山駅と東区役所を結ぶ「紫竹・江南ルート」を運行していますので、ぜひご利用ください。



新潟県立大学生×東山の下地区コミュニティ協議会

つうぽろ — 通船川下流域まちづくりプロジェクト —

新潟県立大学地域国際学部の山中知彦教授のもとで「都市・地域デザイン」を学ぶ学生が、今年も1月25日にまちづくりのアイデアを発表しました。

学生たちは、東山の下地区コミュニティ協議会の地域住民から、通船川、じゅんさい池、地域の文化などについて教えてもらい、現地調査をしながらまちづくりのアイデアを練りました。

学生からの提案 ～みんなの協力で実現できるといいな～

第1章 景色をつみあげる「まちが、絵がカレンダー」

- 景色を見つける
 - 景色を絵にする
 - 展示会に出展する
 - 絵をカレンダーにする



第2章 つくる「コミュニティ×○○」

- 4月コミュニティづくり×木材工作体験（じゅんさい池公園）
- 6月コミュニティづくり×キャンドルナイト（小金公園）
- 7月コミュニティづくり×木材ワークショップ（通船川）
- 10～11月コミュニティづくり×芋煮会（公園）



第3章 通船川大祭

- 1日目 ● 水上屋台 ● 通船川甚句
- 2日目 ● 通船川花火大会
- 3日目 ● 灯籠流し



第4章 つたえる

- 通船川通信で情報発信

今回提案されたまちづくりのアイデアは、地域のコミュニティづくりや防災の観点も踏まえた提案となっています。

コミュニティ協議会をはじめ地域の各種団体や企業などの協力があれば、実現できるアイデアが多くあります。これまでも、沼垂テラス商店街のまちづくりや工場夜景バスツアーなどを実現しています。元気なまちを目指して共に頑張りましょう。